

★島根紀行

島根の協力工場に、西日本初の「窒素加圧加熱処理」施設が完成したということで、見学に行ってきました。

「窒素加圧加熱処理って…?」

- 真空で加圧された220℃以上の高温の窒素で置換された釜に入れられた木材を成分処理することです。
- 木の腐りやすい成分を分解し、薬剤を一切使用することなく天然無垢材を埋もれ木の状態に加工します。
→地中に埋設した枕木では、何と20年以上の耐久実績があります！
- 薬剤注入や燻煙方式などの表面処理と違い、木材の中心部まで分子レベルで改質します。
→切ったり削ったりという加工を施しても、ほぼ均一な性質を維持し、ヤニやアクなどの心配もありません。

この特殊な加工技術によって、**高い形状安定性と防腐・防虫効果**が同時に得られます。処理直後は絶乾状態(含水率0%)になり、その後の**平衡含水率**(空气中に放置した時に木材内部に含む水分)は**3~7%**に安定します。木材は通常8%以下の状態では狂いがほぼ生じないことから、窒素加圧加熱処理材は**寸法安定性が非常に高い**と言えます。また、**断熱性と速乾性**にも優れています。杉・桧・松などに処理することができ、間伐材の再利用にも適していると思われます。

環境や人に優しいこの画期的な天然新素材は、**ウッドデッキ・ルーバー・枕木・外壁材**など屋外に強い木材としてその威力を発揮します。耐久性やメンテナンスなどの理由により、これまで木材の利用が難しいと諦めていた場所でも選択肢の幅が広がれば…と期待が膨らみます。



★4月開園 木の幼稚園・保育園

今年も4月の開園に合わせて4つの幼稚園・保育園に無垢の床を納めました。園の方針や設計意図により、使ってもらった木は様々。ナラや栗など定番の製品を始め、針葉樹のから松を使った園も！どちらも素敵に仕上がりに、この春から新しい生活を始めるたくさんのお子様たちを迎えています。

待機児童解消の対策として保育施設の充実が急務です。そのために国や地方自治体から補助金が出るケースもあるとのことで、最近園関係のお仕事にはよく出会います。設計士さんからご相談があれば、木童からも木の部分でプレゼンのお手伝いをしています。近年は自然素材への注目も高まっていることから、木童での納材事例も関西を中心に全国延べ30を超えました。

完成した園舎からは木の香りがいっぱい♪もしかすると園長先生の最初の要望はもっとざっくり「他園と差別化を図りたい」という漠然としたものだったかもしれません。でも良い意味で期待を裏切る、そんな仕上がりになっているといます。天然の素材は良いことも大変なことも発信してくれます。子どもたちには、ここからいろんなことを学んで、“人に”“モノに”優しい気持ちを育ててもらいたいと願います。



★K邸新築工事/兵庫県宝塚市 設計: 浅見建築設計事務所

宝塚市の閑静な住宅街に建つK邸は、延床43.8坪の箱型の間取りの中央に大きな吹抜けテラスを設けた贅沢なプランニングの住宅。外観は大きな木製ガラス建具と真っ白な漆喰塗りですっきり。内部は本をたくさんお持ちの住まい手さんのために、階段の踏み板と一体化した壁面書棚が壁一面に広がり、そこを中心にちょっと座って本を読むためのベンチや、長いカウンターなどが便利に配置されています。

いつも同様に宮崎県産オビ赤杉の構造材で在来工法を用いながら、断熱パネル工法を併用、外周部はサッシや建具もすべて木製とした新しいこと尽くめのK邸。天井の梁組みをはじめ、棚板や階段、枠材に至るまですべて杉で揃えながらも、床材だけは北海道産の檜材を使用、一見アンマッチのように思えますが、仕上がってみると違和感なく、とても美しいモダンな木の家となりました。



★S邸/神奈川県横浜市 設計: i+i 設計事務所

横浜の閑静な住宅街の路地を奥に進むと焼杉の外壁が見えてきます。人通りの有る玄関のある面は壁に触れても汚れない様に1F部分を焼いていない杉板とし、2F部分とその他の3面に焼杉の荒磨きに塗装という仕様となっています。内部はモダンな仕上がりとなっており、家の中と外での印象の違いも楽しめる物件となっていました。

設計の飯塚さんには、この数年木童の焼杉を大変気に入って頂きリピートをもらっています。その理由として、メンテナンスを含めて“コストパフォーマンスが高いこと”と“木童の品質を信頼して頂いていること”だと自負しています。



★H邸改修工事 / 東京都練馬区 施工: スタジオエイト

設計士でもある施主の息子さんから床材のご相談を頂いた事がきっかけで、木童の材をたくさん使って頂きました。メインの床には最初のお問合せであった土佐梅が採用されましたが、その他の木材は適材適所に様々な樹種をお選びいただき、お部屋によって異なる印象の仕上がりとなっています。梅の他には、リビングダイニングとキッチンとを隔てるルーバーに島根県産の地松(石見赤松)、棚板の造作にはからパネル、2Fの寝室と廊下にいたやかえて、和室板の間に南波から松、といった具合です。

すべての木部には保護のため木童の桐油をお施主さんが塗装され、私も少しお手伝いさせて頂きました。たくさんのお樹種を使っても、“設計力”と“無垢の統一感”ですっきりまとまっています。



KODOH NEWS

- 4/14(土)・5/12(土)は東京支店で無料住宅相談会を行います。※予約制となりますのでメールかFAXにてお申込み下さい。
- からパネルおよび木童の桐油の価格が変わります。ご注文の際にはホームページの価格表をご覧ください。スタッフまでお尋ねください。
- ※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。